

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 15 日

Table with columns: 事務事業名, 特定保健指導事業, 事業区分 (新規/継続, 単独/補助, 単独), 担当 (事務事業No. 010201000323, 所属課 040401, 課長名, グループ, 担当者名), 政策体系 (総合計画の施策名 0102 健康づくりの推進, 政策名 01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり, 施策名 02 健康づくりの推進, 手段名 01 ①健康づくりの推進), 財務会計上の位置付け, 事業期間 (単年度繰返し (平成20年度~)), 予算科目 (02 06 02 01 01 00 国民健康保険特別会計 特定健康診査等事業), 法令根拠 (高齢者の医療の確保に関する法律)

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Content includes: 平成20年度から医療保険者に実施が義務付けられる特定健康診査・特定保健指導が開始された。... 特定保健指導プログラムの企画・立案。健診データから特定保健指導該当者の抽出、通知。...

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns: ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), 単位, 02年度 (実績), 03年度 (実績), 04年度 (計画), 05年度 (目標), 06年度 (目標). Rows include: 特定保健指導は、メタボリックシンドロームに着目し積極的支援・動機づけ支援・情報提供に階層化する。... ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標).

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with columns: 投入量 (事業費), 02年度 (実績), 03年度 (実績), 04年度 (計画), 05年度 (目標), 06年度 (目標), 期間限定総投入量. Rows include: 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数.

Table with columns: 事業費の内訳, 03年度事業費 実績 (千円), 04年度事業費 予算 (千円), 合計. Rows include: 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 合計.

事務事業名	特定保健指導事業	事務事業No.	10201000323	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成20年度医療制度改革に伴い開始。40～74歳の特定健康診査等については、老人保健法、医療保険各法から「高齢者の医療の確保に関する法律」に変わり、住民の特定健康診査や「トクホ」特定保健指導および「メタボ」メタボリックシンドローム等に対する理解、生活習慣改善への意識が浸透しつつある。平成30年度より6年間、第三期特定健康診査・特定保健指導実施計画が開始した。現在、重症化予防を重点施策とし、介護予防事業と連携した取組も示唆されている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
保健指導実施期間を過ぎても継続した支援を望む声がある。また、毎年該当になるため、自分で実施するという声もある。後期高齢者医療保険（国保年金課）及び介護保険、介護予防事業（高齢福祉課）との事業連携が望まれている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 特定健康診査・特定保健指導を実施することで、自分の健康状態を知り、生活習慣の改善に結びつけられているので、健康づくりの推進に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 特定健康診査・特定保健指導は法令に基づいた事業であり、市が行うことが妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 国の基準をもとに、桜川市健診等実施計画では、令和6年度は保健指導実施率57%の実施率を目標としている。積極的支援（特に40～50歳代）の実施率が低いいため、内容を見直し目標まで率をあげる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法令に基づいた事業であるため、廃止・休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 具体的な手段、事務事業名 生活習慣病予防事業、健康診査・がん検診事業 生活習慣病重症化予防事業の該当者やがん検診要精密者の受診勧奨者（健康診査・がん検診事業）で重複している方がいるため、健診結果等の情報を整理した上で、訪問や電話等、効果的な介入を行う。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費も最低限で実施しており、削減する余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 法令に基づいて実施しているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和2年度特定保健指導実施率は46.2%であり、昨年度より上昇したが、目標値の49%に達することはできなかった。対象者が参加しやすいよう初回面接分割実施や人間ドック医療機関での保健指導を行った。保健指導を実施する中で、生活習慣病重症化予防事業の該当者やがん検診要精密者の受診勧奨者で重複者があり、効果的な介入が必要である。																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 （複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 特定保健指導対象者が多い40～50代の男性は、仕事の都合等で連絡できる時間帯がさまざまなので、電話支援以外の支援方法の検討も必要。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>